

再度の申し入れ

「有機フッ素化合物 (PFAS) の残留・汚染状況の把握と対策について」

秘書広報課

-5.3.24

第40号受付

鎌ヶ谷市長 芝田ひろみ様

2023年3月24日

「民主と自治の会」

藤代政夫

渡邊俊彦

戸部光枝

*連絡：445-9144

前略

「PFAS についての状況把握と対策」についての申し入れ (2/16) への回答 (3/10) 早速いただきありがとうございます。

PFAS についての問題提起は、今年に入ってから 2023 年 1/13 朝日新聞 (1 面 2 面)、週刊金曜日 1/27 号、そして「世界」4 月号とたてつづけにその危険性と、対応の必要性が訴えられています。

沖縄や東京多摩地区の血液検査に係わった原田准教授は「米軍や自衛隊の基地といった泡消化剤を使っているところでは PFAS 汚染が起こるということは常識的な話で疑う余地はない」(世界 4 月号) と。

又、ルポの記載者である諸永さんによると、国分寺市の東恋ヶ窪浄水所などで水源井戸からの取水が問題視されているとのこと。「PFOS は 2010 年に国内で製造・使用が原則として禁止されたにも関わらず住民の血中濃度が高いのは、地下水は動きが遅く汚染されたまま地中にとどまり、水道水として人の体の中にとりこまれるから」(世界 4 月号) と指摘しています。

そこでご回答でよく分からない点について再度お尋ねします。

I、下総基地について

- ① 下総基地にあった泡消化剤については 2020 年の回答では「5140ℓの在庫は産業廃棄物業者と契約し当該契約相手方に処理を委託する予定」とありました。その委託内容が今回の回答の「焼却処理」なのでしょうか？焼却処理は下総基地内で行ったのでしょうか？契約事業者が持って行って処理したのでしょうか？
- ② 下総基地内での PFOS 含む泡消化剤の使用実態が分からないとの回答でしたが、PFAS に関して基地内の地質・地下水の調査はまったくしていないのでしょうか？する予定はありますか？

II、下総基地周辺及び市内について

鎌ヶ谷市は PFAS にかかる土壌・水質についての調査はしていないとのこと。又水質については北千葉広域水道事業団の水道水の水質結果を示してくれました。

鎌ヶ谷市民の中で井戸水を使っている方もいらっしゃると思うのですが、

- ① 鎌ヶ谷市では井戸水を飲料水に使っている世帯はどのくらいありますか？
- ② 下総基地周辺の井戸水の PFAS に係る調査はしないのですか？する必要はないのでしょうか？

*回答を文書にて 4 月 18 日までにいただきたく存じます。